

エピテーゼを支援の対象にする考えは

高松 幸雄議員



必要性を考慮したうえで判断したい
健康子ども部長



▲エピテーゼの一例

問 愛知県は令和4年度の予算でがん患者のアピランスケアを支援することを決め、がん患者が医療用ウィッグや乳房補正具を購入する際に費用の一部を補助する市町村に対して財政支援を始めた。アピランスケア事業として、新たに補助制度を設けた市町村に住む患者は、かかった費用のうち半額、上限2万の補助を受けられる。本市でも4年3月議会の一般

質問から実現したが、現在の制度では、エピテーゼ（がん治療の副作用で眼球や頬、鼻、耳などを欠損した際、医療用具としてその部分に取り付ける人工物のこと）のアピランス事業の補助対象にはならない。アピランスケア事業に医療用ウィッグや乳房補正具の購入の一部を補助する事業を拡大し、エピテーゼを支援の対象に拡充する考えはないか。

答 本市のアピランスケア支援事業は、愛知県の補助事業を活用し実施している。支援対象の拡大については県の補助対象の動向を確認するとともに補助の必要性等を考慮した上で判断したい。

物価高騰対策として実施する内容は

価高騰への対策に関する要望書を日永市長に提出したが、本市が物価高騰対策対応として実施する柔軟に活用できる内容というは。

答 エネルギーや食料品価格などの物価高騰の影響を受けた市民と事業者を支援するため、水道の基本料金を7年4月から4カ月間免除・補助する事業、同じく4月から4カ月間、市内在住の小・中学生の給食費を無償化するため、一般財源を活用して、独自事業として実施している、市内中学校生徒の給食費の無償化の対象とならない市内在住の小・中学校児童・生徒の給食費の無償化または無償化相当分の補助を行う。

問 政府が決定した令和6年度補正予算には、地域の実情に応じたきめ細かい支援の財源として自治体が独自に活用ができる重点支援地方交付金が増加された。
公明党あいさいは低所得世帯を対象にした3万円給付と子供1人当たり2万円加算の迅速な支給を目指すこと、学校の給食や教材費など保護者の負担軽減による生活支援を図ること、水道料金の減免を図ることなど、物